

NY マーケットレポート (2015 年 8 月 28 日)

NY 市場では、序盤に発表されたミンガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回る結果となったものの、反応は限定的となった。その一方で、フィッシャーFRB 副議長が、早期の利上げ主張と先送り主張がある中で、中立の姿勢を示したが、「9 月利上げを判断するにはまだ早い」、「次の 2 週間に出るデータを考慮する必要がある」とし、9 月利上げの選択肢を残したことから、早期利上げの期待感も高まり、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、米長期債利回りが上昇し、ドル買い・円売りが優勢となったことで、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、ユーロは、ユーロキャリーなどの動きから主要通貨に対して下落する動きとなり、ユーロ/円もやや上値の重い動きとなった。

2015/8/28 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.77	121.32	120.72
EUR/JPY	136.43	136.47	136.04
GBP/JPY	186.22	187.03	186.17
AUD/JPY	86.64	87.32	86.59
EUR/USD	1.1297	1.1306	1.1233

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.95	120.66
EUR/JPY	136.61	136.05
GBP/JPY	186.54	185.42
AUD/JPY	86.72	86.19
EUR/USD	1.1310	1.1255

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19136.32	+561.88
ハンセン指数	21612.39	-226.15
上海総合	3232.35	+148.76
韓国総合指数	1937.67	+29.67
豪ASX200	5263.56	+30.23
インドSENSEX指数	26392.38	+161.19
シンガポールST指数	2955.94	+10.51

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6247.94	+55.91
仏CAC40	4675.13	+16.95
独DAX	10298.53	-17.09
ST欧州600	362.28	+1.01
西IBX35指数	10352.90	+62.70
伊FTSE MIB指数	21993.74	-207.50
南ア 全株指数	49966.80	+841.72

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.41	121.56	120.70
EUR/JPY	135.82	136.25	135.30
GBP/JPY	186.92	187.07	185.39
AUD/JPY	87.04	87.09	86.05
NZD/JPY	78.51	78.52	77.75
EUR/USD	1.1189	1.1278	1.1156
AUD/USD	0.7170	0.7172	0.7121

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16643.01	-11.76
S&P500	1988.87	+1.21
NASDAQ	4828.32	+15.62
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	13865.07	+98.40
ロシアボルサ指数	43290.86	-161.50
ブラジルボバ指数	47153.87	-561.41

8/31 経済指標スケジュール

08:50	【日】7月鉱工業生産
10:00	【NZ】8月ANZ企業景況感
10:00	【豪】7月HIA新築住宅販売
10:30	【豪】2Q企業営業利益
10:30	【豪】7月民間部門信用
11:00	【シンガポール】7月マネーサプライM2
12:00	【NZ】7月マネーサプライM3
13:00	【日】7月自動車生産
14:00	【日】7月住宅着工戸数
14:00	【日】7月建設工事受注
15:00	【南ア】7月マネーサプライM3
15:00	【南ア】7月民間部門信用
16:00	【スイス】8月KOF先行指数
16:00	【トルコ】7月貿易収支
17:30	【香港】7月小売売上高
18:00	【欧】8月消費者物価指数
21:00	【南ア】7月貿易収支
21:30	【カナダ】2Q経常収支
22:00	【米】8月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45	【米】8月シカゴ購買部協会景気指数
23:30	【米】8月ダラス連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1134.00	+11.40
NY 原油	45.22	+2.66
CMEコーン	375.00	0.00
CBOT 大豆	885.50	+6.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.72%	0.68%
3年債	1.02%	0.98%
5年債	1.52%	1.49%
7年債	1.91%	1.89%
10年債	2.18%	2.18%
30年債	2.91%	2.93%

8/31 主要会場・講演・その他予定

・英市場休場 (Summer Bank Holiday)

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.83 ユーロ/円 136.13 ユーロ/ドル 1.1266

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6157.20	-34.83	ダウ 先物ミニ	16518	-132
仏 CAC40	4638.56	-19.62	S&P 500 ミニ	1973.75	-15.50
独 DAX	10247.95	-67.67	NASDAQ 100 ミニ	4294.00	-34.00

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ドイツ消費者物価指数(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 0.2%)

8月ドイツ消費者物価指数(前年比) 0.2% (予想 0.1%・前回 0.2%)

8月ドイツ EU 基準消費者物価指数(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 0.3%)

8月ドイツ EU 基準消費者物価指数(前年比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

21 : 00

《 要人発言 》

ブラード・セントルイス連銀総裁～ジャクソンホール

- ・「中国からのインフレへの影響はそれほど大きくない」
- ・「過去 10 日間の動向は政策見通しを大きく変えない」
- ・「賃金は遅行指数、インフレ見通しを示さない」
- ・「下半期の米経済は上半期よりも良さそうだ」
- ・「インフレ期待の低下は私をためらわせる」
- ・「FOMC はボラティリティ高いときの行動を好まない」

21 : 30

《 経済指標の結果 》

7 月米個人所得 (前月比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.4%)

7 月米個人支出 (前月比) 0.3% (予想 0.4%・前回 0.3%)

前回発表の 0.2% から 0.3% に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米個人所得・支出》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
個人所得	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.3	0.2
賃金・給与	0.5	0.2	0.4	0.2	0.0	0.0	0.2
可処分所得	0.5	0.4	0.4	0.4	0.0	0.3	-0.1
個人消費支出	0.3	0.3	0.8	0.3	0.5	0.2	-0.4
個人貯蓄率	4.9	4.7	4.6	5.0	4.9	5.4	5.3

21 : 30

《 経済指標の結果 》

7月米PCEデフレーター（前年比） 0.3%（予想 0.3%・前回 0.3%）

7月米PCEコア・デフレーター（前月比） 0.1%（予想 0.1%・前回 0.1%）

7月米PCEコア・デフレーター（前年比） 1.2%（予想 1.3%・前回 1.3%）



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

21 : 30

<< 経済指標の結果 >>

7月カナダ鉱工業製品価格（前月比） 0.7%（予想 0.0%・前回 0.5%）

7月カナダ原料価格指数（前月比） -5.9%（予想 -4.3%・前回 0.2%）

前回発表の 0.0%から 0.2%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

《 要人発言 》

コチャラコタ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「インフレは依然として非常に低い」
- ・「近い将来の利上げは適切ではないだろう」
- ・「見通しに基づく緩和検討が必要になる」
- ・「世界経済の減速は米見通しへのテールリスク」

《 經濟指標の結果 》

7月メキシコ失業率（季調前） 4.72%（予想 4.75%・前回 4.41%）

7月メキシコ失業率（季調済） 4.31%（予想 4.37%・前回 4.36%）
 前回発表の4.39%から4.36%に修正



(出所：ブルームバーグ)

22 : 25

≪ 要人発言 ≫

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・「インフレ率 2%達成を合理的に確信」
- ・「米経済は金利上昇に耐えられる」
- ・「最近の原油安とドル高は一過性の要素」
- ・「目標達成の前に金融政策を動かすべきだ」

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16597.31	-57.46
ナスダック	4800.78	-11.93

(出所：SBILM)

23 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

8月ミシガン大学消費者信頼感指数 91.9 (予想 93.1・前回 92.9)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

8月確報・8月速報・7月・6月・5月・4月

消費者信頼感	91.9	92.9	93.1	96.1	90.7	95.9
景気現況指数	105.1	107.1	107.2	108.9	100.8	107.0
消費者期待指数	83.4	83.8	84.1	87.8	84.2	88.8
1年インフレ	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8	2.6
5年インフレ	2.7	2.7	2.8	2.6	2.8	2.6

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前日までの大幅続伸を背景に利益を確定する売りが先行した。また、米消費者信頼感調査が市場予想を下回ったことで、米景気への楽観的な見方がやや後退したことも圧迫材料となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で102ドル安まで下げる動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 7月の米個人所得・消費統計では、個人消費支出が前月比+0.3%と6ヵ月連続のプラスとなり、冬場に落ち込んだ後は緩やかな伸びを維持している。一方、個人所得は+0.4%となり、市場予想と一致した。

①自動車や家具などの耐久財が+1.1%と前月のマイナスから大きく持ち直し、食品やエネルギーなどの非耐久財が+0.2%、サービスは+0.2%となった。

②税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.5%と昨年11月以来の高い伸び率となり、貯蓄率は4.9%と前月から0.2ポイント上昇した。

③FRB が物価安定の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+0.3%、長期的に達成すべき目標とする 2%を引き続き下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は、前年同月比で+1.2%となった。

(2) 8月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は91.9となり、8月の速報値から1.0ポイント低下し、市場予想の93.0を下回った。前月比では1.2ポイント低下し、3ヵ月ぶりの低水準となった。現状指数は105.1と8月

速報値から 2.0 ポイント、前月から 2.1 ポイント低下し、3 ヶ月ぶりの低い水準となった。1 年後のインフレ期待は 2.8%で 8 月速報値、前月から横ばいとなった。

0 : 40

《 要人発言 》

フィッシャーFRB 副議長～CNBC インタビュー

- ・「9 月利上げを判断するにはまだ早い」
- ・「人民元下落の影響を見守る必要」
- ・「インフレ率上昇への確信はかなり高い」

- ・「今すぐに動く必要はない」
- ・「市場のボラティリティ、利上げ開始時期に影響し得る」
- ・「利上げの段階に達したかどうかまだ確かではない」

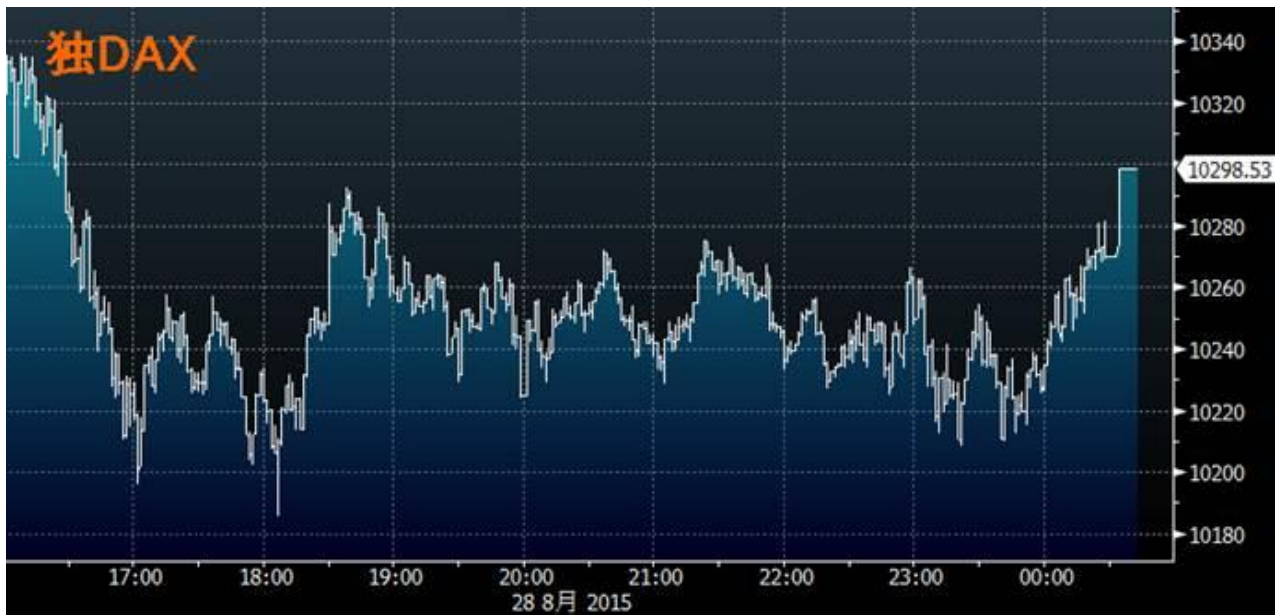
- ・「次の 2 週間に出るデータを考慮する必要」
- ・「市場で起こり得るあらゆる反応を考慮する必要」
- ・「利上げ後の市場ではいくらか調整が起きる可能性も」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6247.94	+55.91
仏 CAC40	4675.13	+16.95
独 DAX	10298.53	-17.09
ストック欧州 600 指数	363.28	+1.01
ユーロファースト 300 指数	1435.13	+4.92
スペイン IBEX35 指数	10352.90	+62.70
イタリア FTSE MIB 指数	21993.74	-207.50
南ア アフリカ全株指数	49966.80	+841.72

(出所: SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。アジア株の上昇を好感した買いと利益確定の売りが交錯する動きとなり、英 FT100 は続伸したものの、独 DAX は小幅安となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16583.91 (-70.86)、S&P500 1986.46 (-1.20) ナスダック 4802.70 (-10.01)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株の下落で安全資産としての需要が強まり、逃避買いが先行した。7月の米個人所得・消費統計で、米FRBが物価安定の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数が目標の2%を下回ったことも相場の支援材料だった。

午前の利回りは、30年債が2.89%（前日2.93%）、10年債が2.15%（2.15%）、7年債が1.87%（1.90%）、5年債が1.47%（1.51%）、3年債が0.98%（0.99%）、2年債が0.68%（0.70%）。

《 海外の話題 》

トルコの世論調査によると、11月1日の再選挙では与党・公正発展党（AKP）が単独政権樹立に必要な票を獲得できない見通し。AKPの支持率は38.9%で、6月7日の総選挙時点の40.7%から低下した。6月の選挙で、AKPは2002年の政権発足以来初めて過半数を失い、ダウトオール首相は暫定内閣に野党から閣僚を招請している。調査では、最大野党・共和人民党（CHP）の支持率が27.8%、極右の民族主義者行動党（MHP）は16.3%、クルド人系の国民民主主義党（HDP）は13.5%だった。

3 : 30

《 要人発言 》

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「今動くか待つかは議論の余地がある」
- ・「月初以来、リスクは高まっている」
- ・「利上げ時期は近い」
- ・「利上げは25BPで始まり、その後は漸進的に」
- ・「第3四半期の成長率は第2四半期よりも緩やか」
- ・「議長の記者会見は緊急に通知できる」

- ・「10月のFOMCは白熱した会合に」

3:40

NY金は、中心限月が前日比11.40ドル高の1オンス=1134.00ドルで取引を終了した。

4:50

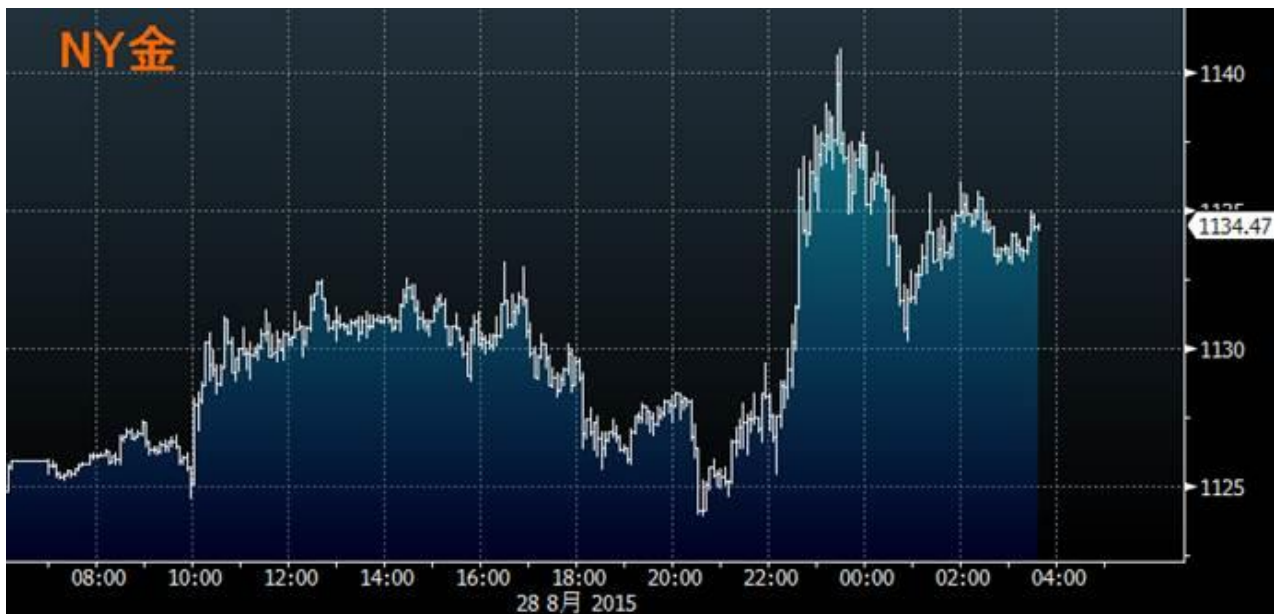
NY原油は、中心限月が前日比2.66ドル高の1バレル=45.22ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1134.00	+11.40
NY 原油	45.22	+2.66

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY金は、前日までの相場続落で値頃感が広がり、買い戻しが優勢となった。ただ、ドルが上昇したことや、米国の利上げが近いとの見方が圧迫材料となり、終盤は上値の重い動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、最近の相場下落で値頃感が出たことによる買いが続いた。また、サウジアラビア軍などによるイエメン攻撃で地政学的リスクの高まりが意識されたほか、米南部の熱帯暴風雨が石油関連施設に与える影響も懸念され、堅調な動きとなった。



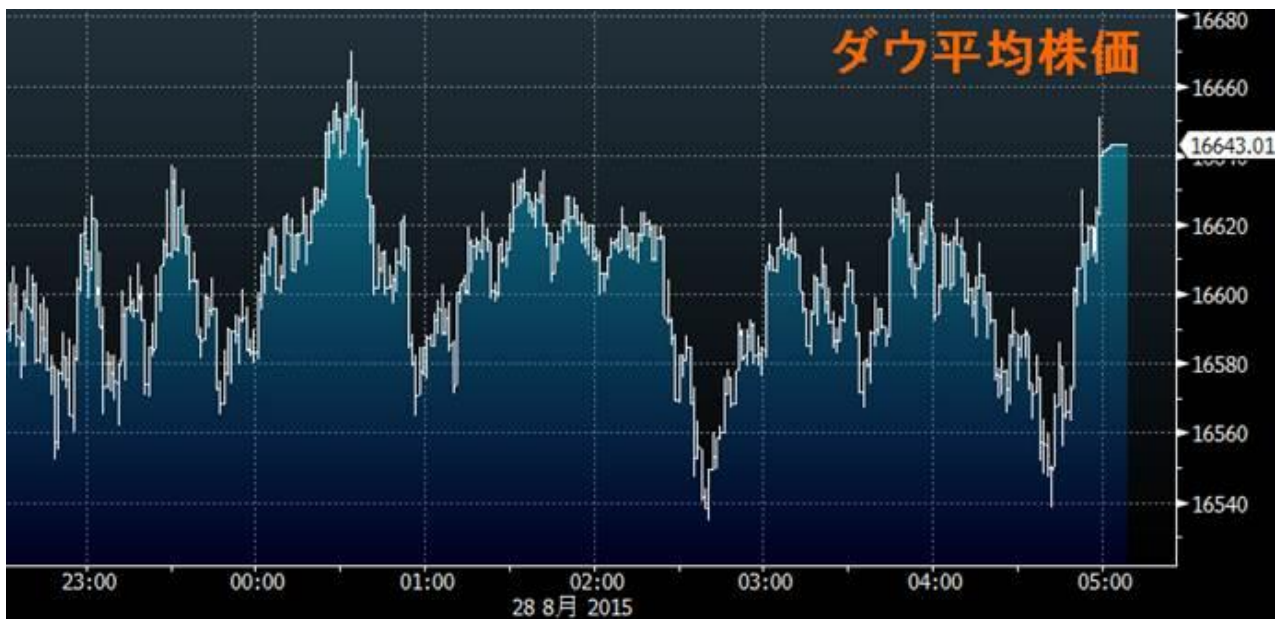
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16643.01	-11.76	16669.97	16535.18
S&P500 種	1988.87	+1.21	1993.48	1975.19
ナスダック	4828.32	+15.62	4836.78	4788.38

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日までの大幅続伸を背景に利益を確定する売りが先行した。また、米消費者信頼感調査が市場予想を下回ったことで、米景気への楽観的な見方がやや後退したことも圧迫材料となった。米主要株価は、終盤まで上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で102ドル安まで下げる動きとなった。しかし、値動きはやや限定的となり、マイナス圏での狭いレンジ内の展開が終盤まで続いた。



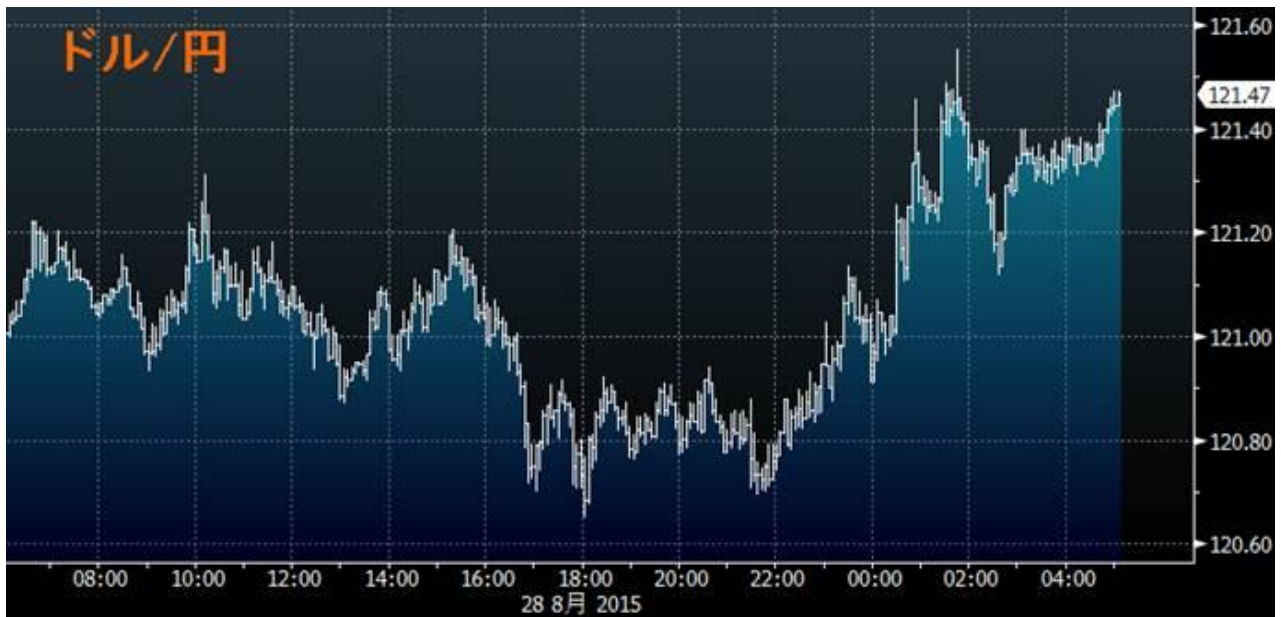
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.41	121.56	120.70
EUR/JPY	135.82	136.25	135.30
GBP/JPY	186.92	187.07	185.39
AUD/JPY	87.04	87.09	86.05
NZD/JPY	78.51	78.52	77.75
EUR/USD	1.1189	1.1278	1.1156
AUD/USD	0.7170	0.7172	0.7121

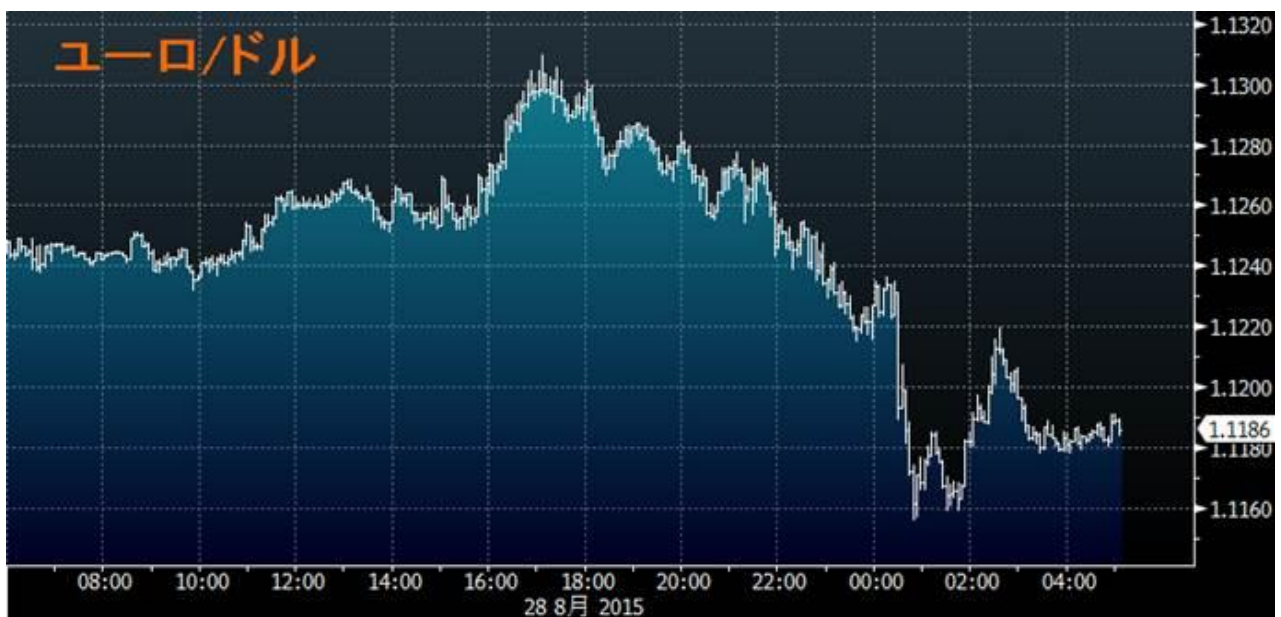
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を下回る結果となったものの、当局者の発言を受けて、早期の利上げ期待の可能性もあるとの期待感からドルが買われ、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。